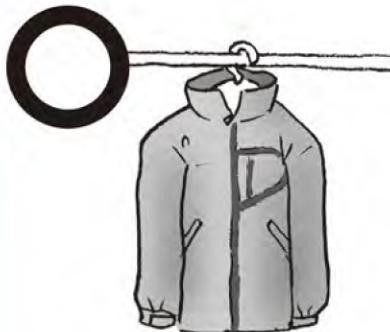


保管方法

レインウェアをより長持ちさせるため、必ず洗濯して汚れを落としてから保管してください。スタッフバッグなどに入れたままにせず、ハンガーに吊るしての保管がベストです。クルマのトランクや屋外の収納小屋など、高温多湿な場所は避けるようにしてください。また、直射日光のあたるところも避けてください。



清潔な状態でハンガーにつるして保管するのがベスト。収納ケースに入れたままにしないでください。



車のトランクなど高温多湿な場所は避けてください。

MAINTENANCE BOOK

Rain Wear

メンテナンスブック【レインウェア】



レインウェアの
お手入れ。



石井スポーツ
ISHII SPORTS

セルフメンテナンス

雨風の浸入をシャットアウトし、体温の低下を防止するレインウェアは、登山において非常に重要な装備の一つです。防水透湿性素材を使用したウエアを少しでも長く快適に使用するポイントは「洗浄」です。汚れの付着をいち早く洗い落としウエア本来の機能性をキープしておきましょう。

レインウェアは定期的に洗濯

ほとんどのレインウェアは洗濯機で洗うことができます。そして洗濯によって機能が低下することは一切ありません。洗濯はウエアの撥水性の維持や回復に役立ちますので、汚れが目に見えなくても定期的に洗うようにしましょう。

※洗濯の前には必ずウエアについている取扱い表示を確認し、その指示に従ってください。

洗濯のポイント

① すすぎは十分に

すすぎは通常の2倍を目安に。すすぎが不十分で洗剤が残っていると、撥水性が低下することがあります。



② 頑固な汚れには

部分的な汚れや油汚れは、集中的に洗剤を付けたり、汚れのひどい部分は事前に一度洗剤を使いぬるま湯で洗ってから、通常の洗濯をして下さい。

洗濯・撥水回復の手順

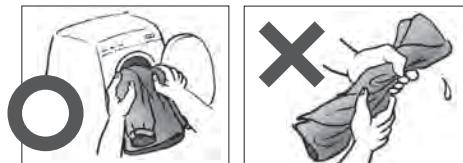
防水透湿性素材を使用したレインウェアの場合

洗濯方法

- 1 ウエアのジッパーやベルクロを閉じてください。開いたまま洗濯機に入れると、生地や他のウエアを傷つけることがあります。



- 2 洗濯機に入れて、ぬるま湯(40°C以下)で洗ってください。洗剤は液体の中性洗剤で、すぎは十分に。柔軟剤や塩素系漂白剤は使用しないでください。絞るのはやめてください。



- 3 洗濯したら乾燥機へ。温度設定ができる場合は、「標準」に設定してください。自然乾燥の場合は、日陰で吊り干しを。

※各商品の取り扱い表示にしたがってください。

レインウェアのSOSと対処法

傷口から雨が侵入し、インナーを濡らしてしまわないように修理は早めに行いましょう。小さな破れや刺し傷は市販のリペアキットを使って自分で修理することができます。

応急処置リペアシート

ウエアの表地に貼るタイプ

圧着タイプリペアシート

裏側から貼るタイプ

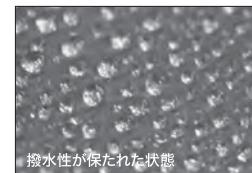
応急処置として使用するシールタイプのリペアシートです。

防水透湿素材を使用したアイロン圧着対タイプのリペアシートです。

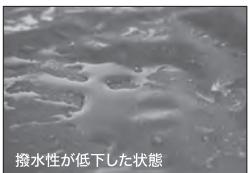
大きな力ぎ裂きや損傷の場合は修理に出しましょう
石井スポーツグループ各店舗では知識豊富なスタッフが修理の可否や買い替えのご案内をさせていただきます。お気軽にご相談ください。

撥水性の低下

レインウェアの撥水性が保たれているうちは、雨が水玉のようにコロコロと流れ落ちますが、撥水性が低下すると表面がベタッと濡れたような状態になり、ウエア自体が重く感じます。



撥水性が保たれた状態



撥水性が低下した状態

撥水回復方法

撥水性の回復には次の方法があります。

- 1 防水透湿向けの撥水スプレー

換気に注意しながら、むらなくスプレーし自然乾燥させ、乾いたらあて布の上からスチームなしのアイロンで熱処理してください。裏地にも撥水処理を施せば、ウイッキング(袖・裾から水がまわりこむ現象)を防げます。



- 2 アイロン(スチームなし)

アイロン(低温80~120°C)をスチームなしであて布の上からかけます。

- 3 乾燥器

タンブル乾燥(弱温50~60°C)をしてください。自然乾燥の場合は、日陰で吊り干しを。



※各商品の取り扱い表示にしたがってください。